

3つの基本戦略

利用者中心

基本戦略(1)
利用者像の明確化と満足度向上

利用者として、(1)教職員・学生を中心とした利用者群、(2)学内組織運営に関わる利用者群、(3)地域・社会の利用者群の3つに分類し、それぞれの利用者群のニーズを反映した満足度の高い情報環境の長期的な設計を進め、各利用者群への貢献が拡大するように情報環境を整備する。同時に、利用者の情報リテラシーを高める。

長期ビジョン

基本戦略(2)
長期ビジョンに基づくマイルストンの設定

名古屋大学の基本理念とマスタープランの理念に沿った10年以上に渡るゆるやかな長期ビジョンに基づき、情報環境に関する長中期計画を策定・維持する。名古屋大学中期目標の一期6年を単位として、各中期目標・中期計画の方向性を戦略的に与え、期末ごとのマイルストーンとその達成に必要な計画を定める。

実施体制の高度化

基本戦略(3)
人材の確保と育成を含む実施体制の高度化

情報関連組織の高度化と人材育成を行いつつ、魅力ある情報環境の整備を行う。

情報環境整備達成の評価軸

3つの評価軸に沿って情報環境整備の達成目標を定め、定期的に計画と実施施策を評価

利便性

- 評価項目例
- ・インタフェースの利用者満足度
 - ・情報ネットワークの開放性、容量等

安全性

- 評価項目例
- ・システム設計安全基準
 - ・情報環境利用スキル標準
 - ・セキュリティ監査

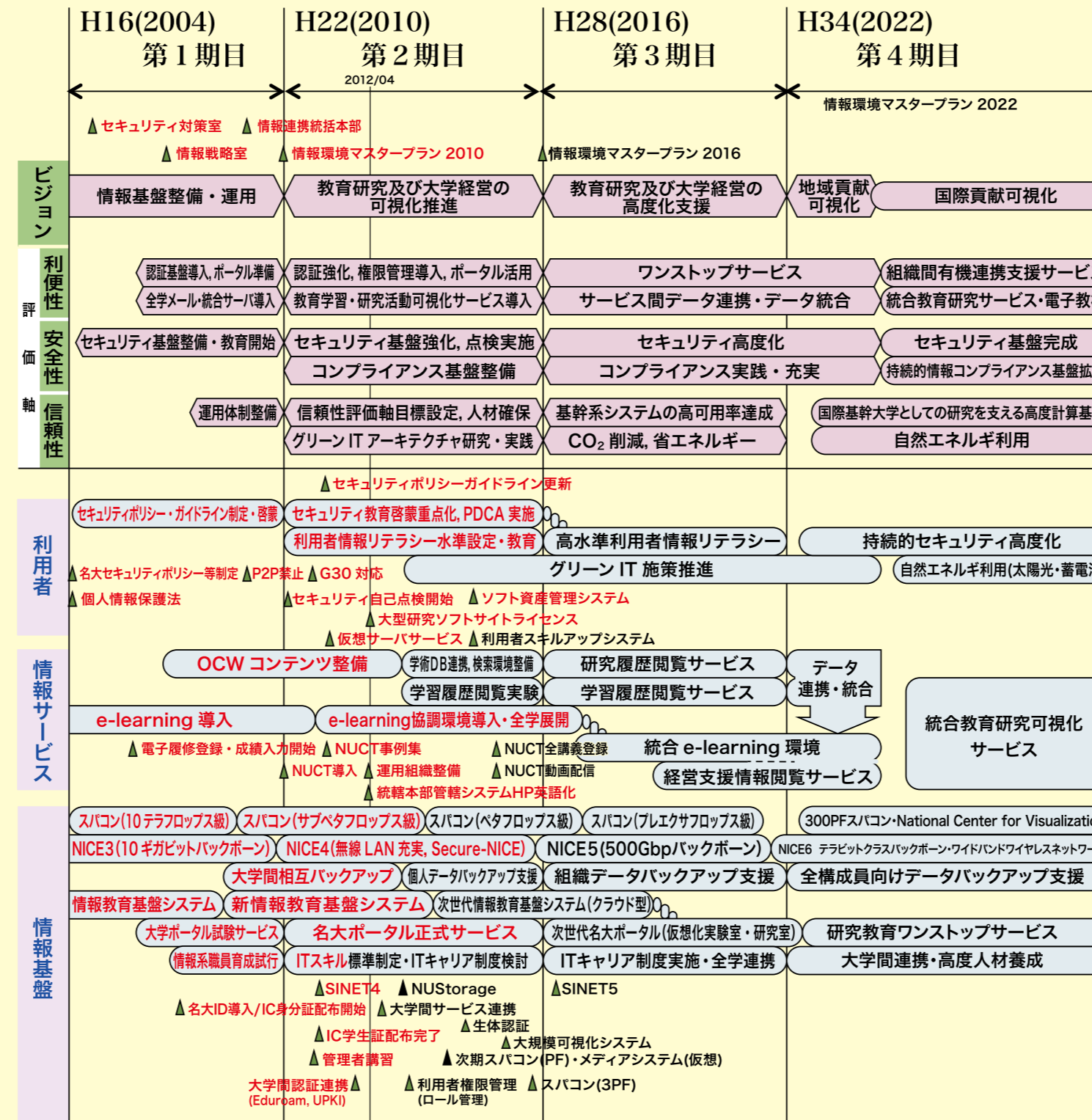
信頼性

- 評価項目例
- ・可用性、故障率、保守性等
 - ・運用スキル標準

可視化に基づく高度化

名古屋大学情報環境マスタープラン 中長期スケジュールとマイルストーン

2016.04制定



本マスタープランの詳細およびお問い合わせに関しましては、こちらをご参照ください。
<http://www.icts.nagoya-u.ac.jp/ja/strategy/masterplan/>

名古屋大学 情報環境マスタープラン 2016

Nagoya University's Strategic Plan 2016 for Information Environment

名古屋大学
平成28年4月

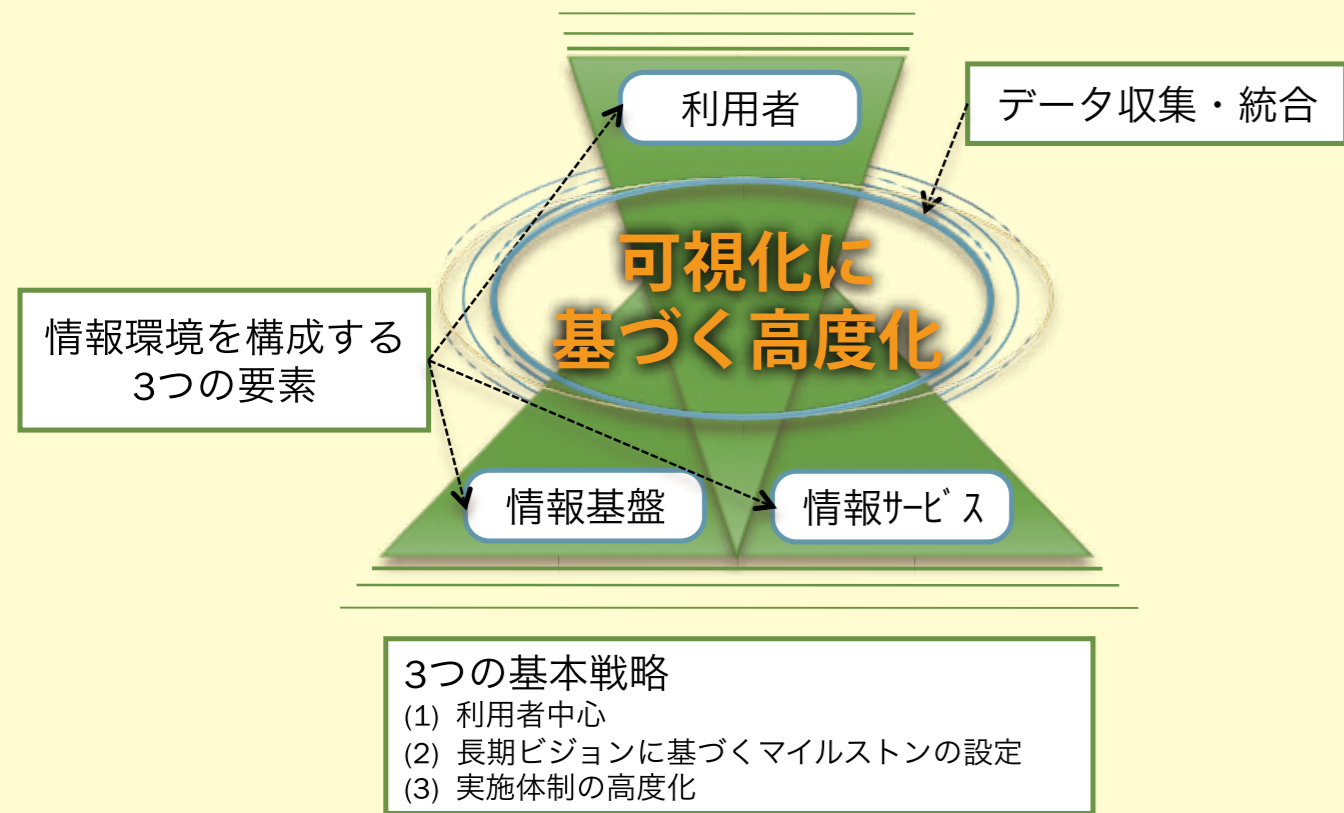
情報環境マスタープランの理念と目標

名古屋大学の学術憲章に示される基本理念を礎とする
「人間性と科学の調和的発展」、「高度な研究と教育の実践」
情報環境の理念と戦略・実施計画を全学で策定・共有

- ・魅力的かつ先進的な情報環境
 - ・情報基盤・情報サービス・利用者の調和
 - ・情報通信技術 (ICT) による可視化とそれに基づく高度化
- 名古屋大学における情報基盤整備の指針を与える

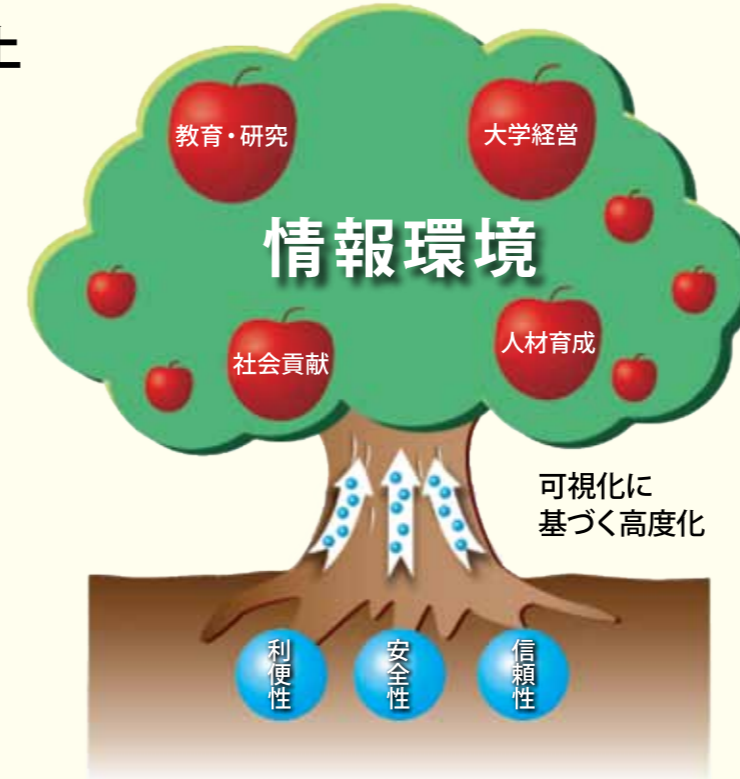
基本方針

1. データ収集・統合の推進
2. 情報環境全体の水準向上
情報基盤と情報サービスの戦略的な整備と運用
利用者の ICT 活用能力の向上
3. 利便性・安全性・信頼性の3軸による評価



基本戦略（1）利用者中心

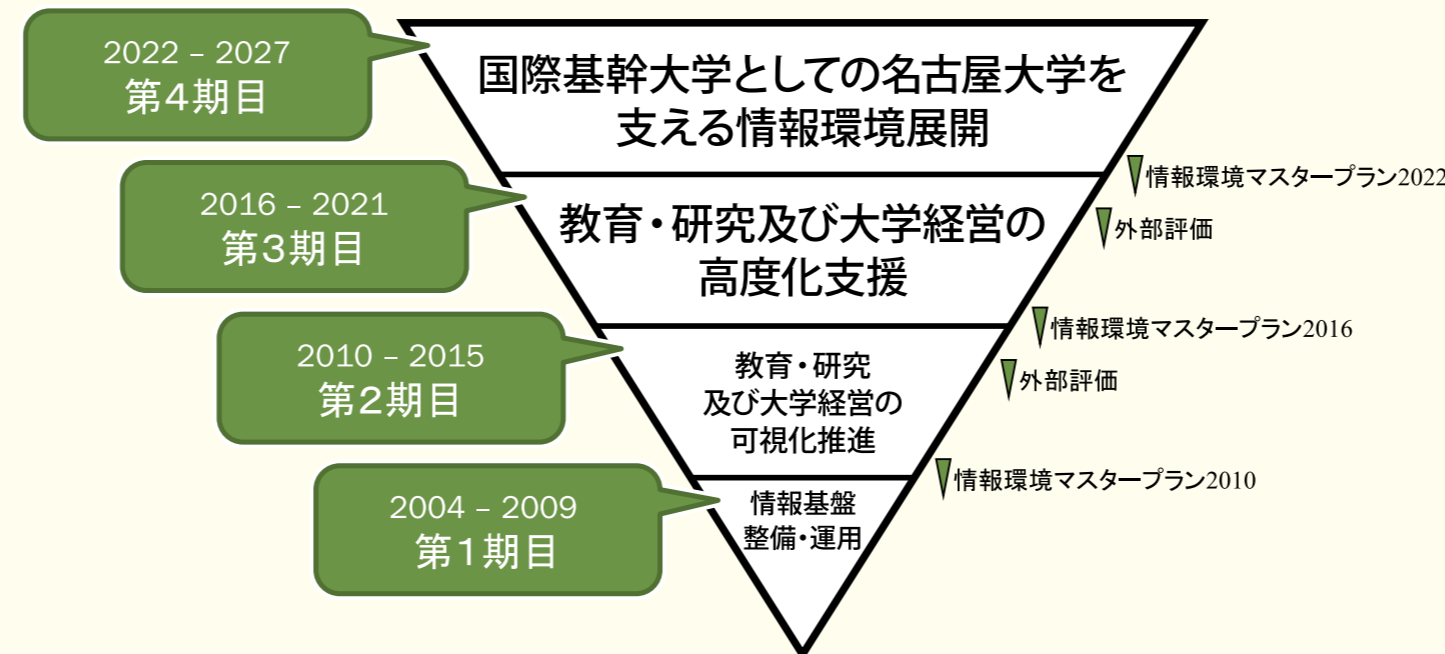
- ・教職員・学生の満足度向上
- ・教育・研究の可視化
 - ・学修活動の可視化
 - ・研究活動の可視化
- ・大学経営の可視化
 - ・事務の可視化



可視化によって
教育・研究及び大学経営に
関する活動と情報環境が
相互作用的に高度化される

基本戦略（2）

長期ビジョンに基づくマイルストンの設定



基本戦略（3）実施体制の高度化

